

バルセロナ・リセウ大劇場とチューリッヒ歌劇場との共同制作

パルジファル

〈配役〉	〈9/13(木)・16(日)〉	〈9/15(土)・17(月・祝)〉
アムフォルトス	黒田 博	大沼 徹
ティトゥレル	小田川 哲也	大塚 博章
グルネマンツ	小鉄 和広	山下 浩司
パルジファル	福井 敬	片寄 純也
クリングホル	泉 良平	友清 崇
クントリ	橋爪 ゆか	田崎 尚美
聖杯守護の騎士	加茂下 稔	村上 公太
	北川 辰彦	狩野 賢一
小姓	渡海 千津子	香村 寛子
	遠藤 千寿子	北村 典子
	森田 有生	櫻井 淳
	伊藤 潤	園山 正孝
花の乙女	青木 雪子	森 真奈美
	坂井田 真実子	江口 順子
	岩田 真奈	吉川 かおり
	鈴木 麻里子	経塚 果林
	磯地 美樹	渡邊 史
	小林 紗季子	増田 弥生

舞台神聖祭典劇 全3幕字幕付原語[ドイツ語]上演 A Stage-Consecrating Festival-Play in three Acts

作曲・台本:リヒャルト・ワーグナー Music and Libretto by Richard WAGNER

指揮:飯守 泰次郎 Conductor: IIMORI, Taijirō

演出:クラウス・グート Stage Director: Claus GUTH

合唱:二期会合唱団 Chorus: Nīkikai Chorus Group

管弦楽:読売日本交響楽団 Orchestra: Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

2012年 9月13日(木) 17:00 15日(土) 14:00 16日(日) 14:00 17日(月・祝) 14:00

東京文化会館 大ホール

S ¥22,000 A ¥18,000 B ¥14,000 C ¥10,000 D ¥6,000 学生 ¥3,000 (学生席は二期会チケットセンターのみ取り扱い)

〈チケットご予約・お問合せ〉 チケットスペース 03-3234-9999 二期会チケットセンター 03-3796-1831 2012年4月12日(木)発売

主催:公益財団法人東京二期会 共催:公益財団法人読売日本交響楽団 協賛:みずほ証券

助成:公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団/公益財団法人花王芸術・科学財団

後援:スイス大使館/スペイン大使館

※写真は、チューリッヒ歌劇場「パルジファル」公演より



チューリッヒ歌劇場



バルセロナ・リセウ大劇場

バルセロナ・リセウ大劇場とチューリッヒ歌劇場との共同制作

オペラが日本と世界のかけはしに!——国際的プロダクションを次々と打ちたてる東京二期会が
今秋お贈りするワーグナー『パルジファル』

今回はバルセロナ、チューリッヒの伝統ある歌劇場との共同制作公演です。

2011年2月にバルセロナ、同年6月にチューリッヒでプレミアを迎えた最新演出の『パルジファル』。

満を持して東京にやってきます!



Richard Wagner



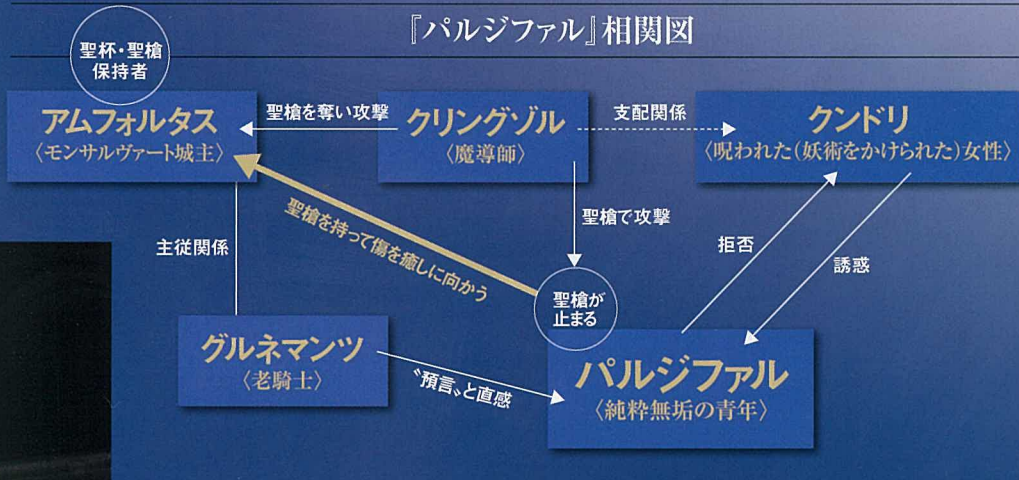
ヴィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー
1813-1883

ドイツ・オペラ最大の作曲家として知られるワーグナーは、19世紀後半のヨーロッパ文化人の一人。その功績は偉大で、音楽界だけに留まらず、その後のヨーロッパ文化に広く影響を与えました。“ワグネリアン”と呼ばれる彼の熱狂的ファンが現在も世界中に多数存在するほどです。

ワーグナーは、『タンホイザー』や『ローエングリン』などを始め、生涯に計13作のオペラを残しました。この『パルジファル』は、彼の最後の作品で、最も重々しく荘厳であると言われています。彼自身の作品演奏のために建てられたパイロイト祝祭劇場での初演時は、その荘厳さを維持するため、拍手が全幕禁止されていました。崇高で、近寄りがたいと思われがちな『パルジファル』ですが、作曲家のデビューはこの音楽をベタ誉めし、その後の自分自身の作品にもワーグナーからの影響を色濃く受けています。

『パルジファル』が初演された翌年、ワーグナーはこの世を去りますが、パイロイト祝祭劇場では、現在まで脈々と“ワーグナー・スピリット”が受け継がれています。

『パルジファル』関連図



STORY PARSIFAL

中世スペインの森と城。アムフォルトス王は、妖術使いクリングゾルに槍を奪われ脇腹に深い傷を負っている。

そこへ、粗野に育ち自分の名も知らない若者パルジファルが、白鳥を殺したかどで聖杯守護の騎士たちに咎められて連れて来られる。

騎士たちの長老グルネマンツは、この無垢な心の若者こそ王の救い主であると思い、聖杯による儀式をみせた。聖杯とは、十字架に磔にされたキリストから流れる血を受けた杯のことである。聖杯守護の騎士たちとは、文字通り、この杯を守護する騎士団。そして、クリングゾルに奪われた槍こそ、かつてキリストの脇腹を刺した聖槍であった。しかし、若者は儀式の意味を理解できない。若者は追われるように王のもとを去る。

パルジファルは、やがてクリングゾルの魔城に紛れ込む。クリングゾルは、この若者を堕落させるため、敬虔な女性クンドリに妖術をかけ誘惑させようとする。魔法にかけられた荒野は花園と化し、乙女たちがあらわれパルジファルを取り囲む。だが、彼に迫るクンドリから接吻を受けると、若者は突然自らの名を知り、王の苦悩を解し、己の使命に目覚める。誘惑は失敗した。クリングゾルはパルジファルに向けて槍を投げつけるが、それは彼の頭上でとまる。若者は聖なる槍をつかみ、傷つき生きる望みを失った王のもとへと進んでいく……



【指揮】
飯守 泰次郎
Conductor: IIMORI, Taijirō

© 篠原英治

1962年桐朋学園大学音楽科卒、同時に藤原歌劇団公演『修道女アンジェリカ』にてデビューを飾る。1966年ミロブーロス国際指揮者コンクール（ニューヨーク）第4位入賞。1969年にはカラヤン国際指揮者コンクール（ベルリン）第4位入賞を果たす。

以後めざましい活躍を続け、読売日本交響楽団、マンハイム市立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、レーゲンスブルク市立歌劇場の指揮者を歴任、オペラ指揮者として確固たる実績を築き上げる。また、1970年からはパイロイト音楽祭の音楽助手として数々の歴史的公演に加わり、パイロイト・フェスティヴァル元総監督ヴォルフガング・ワーグナー氏から「飯守泰次郎こそドイツ語でKapellmeister（名指揮者）と呼ぶにふさわしく、そこにはマエストロと言う言葉以上に大きな尊敬の念が込められている」と絶大な信頼を得た。

その後、1978年から1983年までエンスヘデ市立歌劇団第一指揮者、1979年には、エンスヘデ市立音楽院オーケストラ指揮者となり、現在は同楽団の顧問を務めている。

90年代より国内での活動を再び活性化させ、1993年4月から98年3月まで、名古屋フィルハーモニー交響楽団の常任指揮者を歴任、1997年9月から、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者に就任。古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動を展開。特に2000年から4年がかりで取り組んだワーグナー『ニーベルングの指環』全4作ツィクルス上演では、その功績により2003年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

一方、関西に於いても、2001年から10年まで関西フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者を歴任、同団と活発な活動を展開。特に、ベートーヴェン交響曲・協奏曲全曲ツィクルス、コンサート・オペラ形式によるシリーズ『魔笛』『フィデルリオ』『青ひげ公の城』などが絶賛された。2011年からは同団桂冠名誉指揮者に就任。

CD制作に関してはフォンテックレーベルから多数リリース、その演奏の充実ぶりが各誌より絶賛されている。

2000年度サントリー音楽賞、2004年11月紫綬褒章、2008年第43回大阪府市民表彰、2010年11月旭日小綬章を受章。二期会には2008年『ワルキューレ』以来の登場。

公式サイト: <http://www.taijiroimori.com/>



【演出】
クラウス・グート
Stage Director: Claus GUTH

1964年フランクフルト生まれ。ミュンヘン大学で哲学、ドイツ文学、演劇学を学び、及び同地の音楽大学で演劇とオペラの演出を学ぶ。キャリアの早くから初演作品が氏の重要な活動の中心をなしている。1999年ザルツブルク音楽祭（フェルゼンライト・シュール）でルチアーノ・ベリオ『Cronaca del luogo（場所の年代記）』、ドレスデン歌劇場でベター・ルツツカ『ツェラン』、バーゼル歌劇場でクラウス・フーバー『Schwarzerde（暗黒地球）』、アーヘン歌劇場でヘルムート・エーリング『Blau Wald Dorf（青・森・村）』を手掛ける。

伝統的レパートリーでは2000年にザルツブルク音楽祭とチューリッヒ歌劇場で舞台化したグluck『トーリードのイフィジェニー』をはじめとするバロックオペラからモーツァルト、ロッシーニ、ロルツィング、ヴェルディ、ワーグナー及びストラヴィンスキー『放蕩者のなりゆき』のような近代作品にまで及んでいる。とりわけチューリッヒ歌劇場とバーゼル歌劇場では舞台装置と衣裳をほとんどクリスティアン・シュミットと共同で行っている。チューリッヒ歌劇場では他に、『フィエラブラス』（シュペルト）、『ラダミスト』（ヘンデル）、『アリアーヌと青髭』（デュカス）、『ナクソス島のアリアドネ』がある。

03年パイロイト音楽祭に『さまよえるオランダ人』でデビュー。05年アン・デア・ウィーン劇場でニコラウス・アルノンクールと初の共同作業でモーツァルト『ルチオ・シルラ』を演出、それは06年にザルツブルク音楽祭で『フィガロの結婚』へと継承された。

近年ではクリスティアン・シュミットと共同し更に大歌劇場への客演で『パルジファル』（ハンブルク州立歌劇場、ドン・ジョヴァンニ（ザルツブルク音楽祭）を演出している。最近アン・デア・ウィーン劇場でモンテヴェルディ『テュルクスやミラノ・スカラ座で『影のない女』が上演された。彼のフランクフルトオペラでの『ダフネ』演出は2010年『ファウスト賞』に輝いた。



美術: クリスチャン・シュミット Set and Costume Designer: Christian SCHMIDT
 照明: ユルゲン・ホフマン Lighting Designer: Jürgen HOFFMANN
 映像: アンディ・A・ミューラー Video Designer: Andi A. MÜLLER
 振付: フォルカー・ミシェル Choreographer: Volker MICHEL
 合唱指揮: 安部克彦 Chorus Master: ABE, Katsuhiko
 演出助手: ヴィクトリア・プフォルツミュラー、家田淳、太田麻衣子
 Assistant Stage Directors: Victoria PFORTMÜLLER, IYEDA June, ŌTA Maiko
 舞台監督: 大仁田雅彦 Stage Manager: ŌNITA Masahiko
 公演監督: 曾我榮子 Production Director: SOGA Eiko

9月13日(木)・16日(日)

9月15日(土)・17日(月・祝)



アムフォルタス
黒田 博
KURODA, Hiroshi



テイトゥレル
小田川 哲也
ODAGAWA, Tetsuya



グルネマンツ
小鉄和広
KOTETSU, Kazuhiko



バルジファル
福井 敬
FUKUI, Kei



クリングゾル
泉良平
IZUMI, Ryohi



アムフォルタス
大沼 徹
ONUMA, Toru



テイトゥレル
大塚 博章
OTSUKA, Hiroaki



グルネマンツ
山下 浩司
YAMASHITA, Koji



バルジファル
片寄 純也
KATAYOSE, Jun'ya



クリングゾル
友清 崇
TOMOKIYO, Takashi



クントリ
橋爪 ゆか
HASHIZUME, Yuka



聖杯守護の騎士
加茂下 稔
KAMOSHITA, Minoru



聖杯守護の騎士
北川 辰彦
KITAGAWA, Tatsuhiko



小姓
渡海 千津子
WATARUMI, Chizuko



小姓
遠藤 千寿子
ENDO, Chizuko



クントリ
田崎 尚美
TASAKI, Naomi



聖杯守護の騎士
村上 公太
MURAKAMI, Kōta



聖杯守護の騎士
狩野 賢一
KANO, Ken'ichi



小姓
香村 寛子
KOMURA, Hiroko



小姓
北村 典子
KITAMURA, Noriko



小姓
森田 有生
MORITA, Yūsei



小姓
伊藤 潤
ITO, Jun



花の乙女
青木 雪子
AOKI, Yukiko



花の乙女
坂井田 真実子
SAKAIDA, Mamiko



花の乙女
岩田 真奈
IWATA, Mana



小姓
櫻井 淳
SAKURAI, Makoto



小姓
園山 正孝
SONOYAMA, Masataka



花の乙女
森 真奈美
MORI, Manami



花の乙女
江口 順子
EGUCHI, Junko



花の乙女
吉川 かおり
YOSHIKAWA, Kaori



花の乙女
鈴木 麻里子
SUZUKI, Mariko



花の乙女
磯地 美樹
ISOCHI, Miki



花の乙女
小林 紗季子
KOBAYASHI, Sakiko



花の乙女
経塚 果林
TSUNETSUKA, Karin



花の乙女
渡邊 史
WATANABE, Aya



花の乙女
増田 弥生
MASUDA, Yayoi

合唱: 二期会合唱団 管弦楽: 読売日本交響楽団

東京文化会館 大ホール

9月13日(木)17:00 15日(土)14:00 16日(日)14:00 17日(月・祝)14:00

※開場は開演の1時間前 ※上演予定時間約5時間(幕間休憩2回含む)
 ※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。

主催: 公益財団法人東京二期会 共催: 公益財団法人読売日本交響楽団 協賛: みずほ証券
 助成: 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団/公益財団法人天王芸術・科学財団

[入場料](全席指定、税込)
 ※未就学児入場不可

S¥22,000 A¥18,000 B¥14,000 C¥10,000 D¥6,000 学生¥3,000

※二期会オペラ愛好会割引あり! チケット申込時に同時入会できます。先行予約、割引販売ほか各種特典満載! (お問合せは、二期会チケットセンターまで)
 ※学生席は、二期会チケットセンターのみの取り扱い

[チケットご予約・お問合せ]

チケットスペース

TEL: 03-3234-9999 <http://ticketspace.jp>

チケットスペースオンライン 検索 (パソコンのみ)

二期会チケットセンター TEL: 03-3796-1831 FAX: 03-3796-4710 電話受付: 平日10:00~18:00、土・日・祝休業
ticket@nikikai.net <http://www.nikikai.net> 二期会チケット 検索 Webサイト上でいつでもチケット購入(座席選択可能)頂けます。

●クレジットカード取扱: JCB/VISA/MASTER/AMEX/DINERS ●銀行振込: 三井住友銀行中央支店 普通口座 7768000 ●郵便振替: 00140-9-83598

(プレイガイド) 電子チケットびあ0570-02-9999(Pコード165-051) <http://pia.jp/t> ローンチケット 0570-000-407(オペレーター対応) 0570-084-003 (Lコード: 31637)
<http://l-tike.com/> イープラス <http://eplus.jp/> CN プレイガイド 0570-08-9990 <http://www.cnplayguide.com> 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650